



1 《Andante》2005年 Ann Wolff Foundation, Gotland, Sweden 蔵 撮影：Ludger Paffrath

ANN WOLFF ANDANTE アン・ヴォルフ アンダンテ

2017年7月22日（土）→2017年11月5日（日）

- 展覧会名 アン・ヴォルフ アンダンテ
- 会 期 2017年7月22日（土）— 11月5日（日）
- 会 場 富山市ガラス美術館 展示室1・2（2階）
- 出品点数 約50点
- 開場時間 午前9時30分から午後6時まで ※初日のみ午後1時から開場
（金・土曜日は午後8時まで。入場は閉場の30分前まで）
- 閉 場 日 第1、第3水曜日
- 観 覧 料 一般700円（500円）大学生500円（300円）
「家住利男 削りの形」展との共通観覧券
一般1,000円（800円）大学生800円（500円） 高校生以下は無料
○（ ）内は前売り・20名以上の団体
※1. 前売りは共通観覧券（一般）のみ ※2. 本展観覧券で常設展もご覧いただけます
- 前売り券 「家住利男 削りの形」展との共通観覧券
取り扱い場所：アーツナビ、アスネットカウンター、TOYAMA キラリ総合案内（1F）
- 主 催 富山市ガラス美術館 ○後 援 北日本新聞社 ○協 賛 スウェーデン大使館

1. 展覧会概要

アン・ヴォルフは、1937年にリューベック（ドイツ）で生まれ、ドローイングやビジュアル・コミュニケーションを学んだ後、1960年からコスタ・ボダなどスウェーデンのガラス会社でデザイナーとして活躍しました。1978年の独立後、自身のガラス工房を設立し、現在はスウェーデンを拠点として精力的に活動しています。

作家は初め、ガラスのボウルや板の中に、私的な物語や生活道具をモチーフとする作品を制作しますが、その後、女性の顔や身体へと目を向け、ガラスと異素材とを組み合わせる立体作品を生み出します。さらに人間の頭部、あるいは体のかたちや表情をとらえ、ガラスや金属を鑄造して造形する彫刻作品を展開し、近年では、人生における“時”を階段に見立てた作品の制作を試みています。この一方で作家は、勢いのある筆触で身体を描く絵画作品の制作にも取り組んでいます。作家の作品表現は、時代に応じて豊かな広がりと変化を見せますが、その創作の根幹には、自身の人生や女性としてのあり方、人間の本質への探求が存在します。ヴォルフの作品を前に私たちは、人間の持つ多様な側面や、人生における時の流れを強く意識することになるでしょう。

本展では、自身の造形を探求し始めた初期から現在に至るまでの作品約50点を展示することで、作家の創作活動の歩みを紹介します。



2 《Bowl at Home》1982年 Ann Wolff Foundation, Gotland, Sweden 蔵
撮影：Wolff Studio

2. 作家略歴

- 1937 リューベック（ドイツ）に生まれる。スウェーデンのゴットランド島キライ及びドイツのベルリンに在住し制作を行う。
- 1956-59 ウルム造形大学（ドイツ）で学ぶ。
- 1960-64 プーケベリ・ガラス工房（スウェーデン）のデザイナーを務める。
- 1964-78 コスタ・ボダ（スウェーデン）のデザイナーを務める。
- 1978-2000 トランシェー（スウェーデン）のスタジオで制作を行う。
- 1978-98 ヨーロッパ、アメリカ、日本でワークショップを行う。
- 1977, -79, -84, -86, -95
ピルチャックガラススクール（シアトル、ワシントン州、アメリカ合衆国）で講師を務める。
- 1985 アン・ヴァルフ（Ann Wärff）からアン・ヴォルフ（Ann Wolff）に改名。
- 1993-98 ハンブルク美術大学（ハンブルク、ドイツ）のデザイン科教授に就任。
- 2000-2013 スウェーデンのゴットランド島キライとドイツのベルリンのスタジオで制作する。
- 2005-2008 回顧展「Observations」を開催、世界7都市を巡回。
- 2008 非営利財団アン・ヴォルフ・コレクション（ベルリン、ドイツ）を設立。
- 2013 キライとヴィスビュー（ゴットランド島、スウェーデン）のスタジオで制作を行う。
- 2017 非営利財団アン・ヴォルフ財団ゴットランド（スウェーデン）を設立。

3. 日本での展覧会歴

- 1980 個展, ヤマハギャラリー（京都）
- 1994 「ヨーロッパ工芸新世紀展—素材に魅せられた27人の挑戦」
東京都庭園美術館（東京）
- 1994 グループ展, 北海道立函館美術館, 北海道
「スウェーデン現代工芸展」北海道立近代美術館（北海道）
※麻布美術工芸館（東京）、富山市民ギャラリー（富山）へ巡回

4. 日本国内のパブリックコレクション

北海道立近代美術館（北海道）
東京国立近代美術館（東京）

5. 展覧会の見所

アン・ヴォルフは、自身の人生やアイデンティティーを深く探求する中で、多様な作品を生み出してきました。本展では初期から近年に至るまでに制作された作品のうち、以下の6つのシリーズの作品約50点と、作家の制作について紹介する映像資料1点を展示いたします。

(1) Home (家/家庭) のシリーズ

ヴォルフは、作家であると同時に家庭を守る妻であり母親でもあります。作家としての活動を始めたヴォルフは、カラフルな色彩の器やガラスの板の中に私的な物語や日常生活での体験をモチーフとして取り入れ、自身の人生や女性としての自己を表現することを試みています。

(2) Identity of Woman (女性のアイデンティティー) のシリーズ

初期作品の中に見る女性像は、次第に作品の中心的存在となり、大きな鼻、厚い唇、見開いた目によって強く鮮烈な印象を与える「女性の顔」として作品の中で登場するようになります。それら女性像の中で、ヴォルフは自身のアイデンティティー、あるいは「女性としてのアイデンティティー」を探求していきます。

(3) Identity (4) Mask (5) Persona/Figure (アイデンティティー、マスク、人物/像)

1990年代頃からヴォルフは、ガラスのみならず粘土や金属を用いた彫刻作品の制作に取り組みます。ヴォルフは、そうした人間の頭部や身体をモチーフとする彫刻作品のほか、ガラスのコラージュ作品や、身体の量感が感じられるようなパステルドローイングの作品などの中に、人間の持つ二面性（善や悪、優しさや厳しさ等）や本質を表そうとします。

(6) Trap (トラップ) のシリーズ

近年に入り、ヴォルフは階段のモチーフを使用した彫刻シリーズの制作を開始します。本シリーズにおいて階段は単なる構造ではなく、上昇や下降を想起させる形から、キャリアや時の流れを示唆しています。これまでに制作されてきた作品とは全く異なる形ではありますが、同じように人間そのものを表現していると言えます

ヴォルフの作品には、人間の様々な動きや表情、あるいは時の流れを見ることが出来ます。鑑賞を通して、作品がどのような場面なのか、どのような人物なのか想像が膨らむとともに、作品を見る私たち自身とは何かを考える機会となるのではないのでしょうか。

6. 関連イベント

(1) 講演会 2017年7月23日(日)

午後2時より

講演会①：「アンダンテーアン・ヴォルフの人生と芸術」

[講師] アマンダ・ヴォルフ

(グラフィックデザイナー、作家息女、財団の共同キュレーター)

午後3時より

講演会②：「ワーク・イン・プログレスーアン・ヴォルフと彼女の技術」

[講師] ドロシー・ニルソン・シュペアー

(アン・ヴォルフ財団ベルリン顧問委員会委員長、ギャラリー・ニルソン・グランドマーク(ベルリン、ストックホルム)共同経営者)

■会場：レクチャールーム(富山市ガラス美術館6階)

■料金：無料(ただし、入場には本展観覧券の半券をご提示ください)

■定員：60名(先着順)

※各回逐次通訳付

(2) 学芸員によるギャラリートーク

2017年7月29日(土)、8月12日(土)、8月26日(土)、9月9日(土)、
9月23日(土・祝)、10月7日(土)、10月21日(土)、11月5日(日)

■各回午後2時30分より開催(7月29日(土)のみ午後3時30分より開催)

■会場：富山市ガラス美術館2階 展示室1・2

■料金：無料(ただし、入場には本展観覧券の半券をご提示ください)

※事前申込みは不要です。

7. 出版刊行物

展覧会カタログ「アン・ヴォルフ アンダンテ」

定価1,600円(税込み)

2017年7月22日発刊(予定)

8. 広報用画像

画像1～6を広報用に貸出いたします。

ご希望の方は、別紙（7ページ）の画像貸出し申請書の使用条件をご確認いただき
EメールかFAXにて富山市ガラス美術館広報担当へ申請書をお送りください。

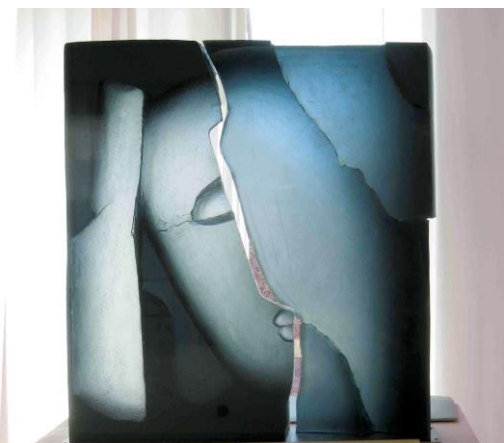
E-mail : bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp FAX : 076-461-3310



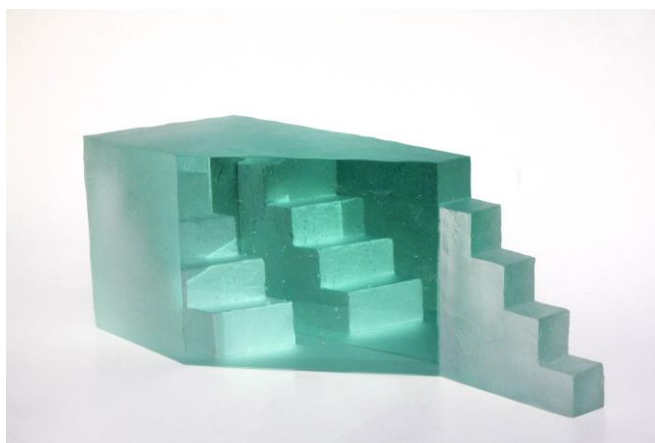
3 《Goddess as Witch》1985年 Ann Wolff
Foundation, Gotland, Sweden 蔵 撮影 : Wolff Studio



4 《River》2011年 Wolff & Co, Sweden 蔵 撮影 : Tomas Hilger



5 《Blues》2011年 Wolff & Co, Sweden 蔵
撮影 : Wolff Studio



6 《Trap III》2015年 Wolff & Co, Sweden 蔵
撮影 : Wolff Studio

年 月 日

(宛先) 富山市ガラス美術館長

担当者： _____

Tel： _____ Fax： _____

E-mail： _____

住所： _____

団体名： _____

富山市ガラス美術館 画像貸し出し申請書

次のとおり、掲載用素材として企画展「アン・ヴォルフ アンダンテ」の画像を申し込みます。

1. 掲載（放映）媒体名： _____

2. 媒体種別：TV 新聞 雑誌 フリーペーパー 電子書籍 WEB サイト 携帯媒体
その他（ _____ ）

3. 掲載の趣旨
別紙のとおり（媒体資料を添付してください） _____

4. 掲載（放映）日時： _____

5. ご希望の画像番号： _____

○作品に文字やほかのイメージを重ねることはできません。また、縦横比の変更やトリミング、キャプション等の文字が写真にかぶらないようご配慮をお願いします。

○作品掲出には指定するキャプションを必ず入れてください。

○作品画像の2次使用はご遠慮ください。

○商品のPR等の商業利用に関しては画像の提供は出来ません。

○校正ゲラの段階で情報の確認をさせていただきます。

○記事が掲載された場合はDVD、掲載紙、誌を一部ご寄贈いただきますようお願いします。

申請書送付先：富山市ガラス美術館広報担当 E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Fax：076-461-3310